

# mkdir コマンド

- 読み方：メイクディレクトリ
- 意味：make directory の略
- 用途：新しくディレクトリ（フォルダ）を作成するためのコマンド

## 利用環境

LinuxやmacOSのターミナル、WSL、Git Bashなど

## 基本操作

### 1. ディレクトリを作成

`mkdir`

- 確認コマンド：ディレクトリができたか確認（詳細付き）（ls コマンド）

```
ls -l
```

- 実行結果の例：dで始まっているのでディレクトリ

```
drwxr-xr-x  2 user user 4096  9  8 12:00
```

### 2. 複数ディレクトリを同時に作成

`mkdir a b c`

- 確認コマンド：ディレクトリができたか確認（詳細付き）（ls コマンド）

```
ls -l
```

- 実行結果の例

```
drwxr-xr-x  2 user user 4096  9  8 12:01  a
drwxr-xr-x  2 user user 4096  9  8 12:01  b
drwxr-xr-x  2 user user 4096  9  8 12:01  c
```

## よく使うオプション

### 1. -p (parents)：親ディレクトリもまとめて作成する

- 指定した階層の中で存在しないディレクトリがあれば、自動的に順番に作成する
- すでに存在する場合もエラーにならない

今いる場所に3階層のディレクトリを作成

```
a
b
c
```

```
mkdir -p a/ b/ c
```

- 確認コマンド：階層ごとに再帰的に確認（ls コマンド）

```
ls -R a
```

- 実行結果の例

```
a:
b

a/  b:
c

a/  b/  c:
```

## 2. -m (mode) : ディレクトリ作成時に パーミッション（アクセス権限）を指定する

- 通常はumask コマンドに従ってパーミッションが決まるが、-m を指定すると上書きできる
- chmod コマンド を後で実行する代わりに、一発で設定可能

### 新しいディレクトリに、755（所有者は全部OK、他人は閲覧と実行のみ）の権限を付与する

```
mkdir -m 755
```

- 確認コマンド：そのディレクトリのパーミッション確認（ls コマンド）

```
ls -ld
```

- 実行結果の例

```
drwxr-xr-x 2 user user 4096  9  8 12:05
```

## その他オプション

### 1. -v (verbose) : 作成処理を標準出力に表示する

- 「このディレクトリを作成しました」というログが表示される
- スクリプト実行時に進捗を確認するのに便利

```
mkdir -v
```

- 実行結果の例

```
mkdir:  ' ':
```

## 2. --help : mkdirコマンドのヘルプを表示

- どのオプションが使えるか確認できる

```
mkdir --help
```

以上